



最近是国内各地でも異常な豪雨や川の氾濫が起っています。今回は、ヨーロッパで 2 番目に長い大河ドナウの「漣」ではなく、上中流域の洪水写真を紹介します。ドナウ川は、ドイツ南西部のシュヴァルツヴァルト（黒い森）から、10 か国を通して黒海に流れ出しています。全長 2,850km、流域面積 817,000 km<sup>2</sup>で、それぞれ信濃川の 7.8 倍、利根川の 49 倍に当たります。印欧祖語の「dānu」（川）が名前の起源とのことです。上の写真は上流部最後の大都市オーストリアのウィーンで、ドナウ川を渡るライヒス橋上で地下鉄 U1 線車内から 2013 年 10 月に撮ったものです。この時は洪水から 4 か月程経ち「美しき蒼きドナウ」と言えるような写真が撮れました。左側が長さ 20km 強の中州のドナウ島で、橋上駅 Donauinsel（ドナウ島）があります。中州の背後のさらに幅の広いドナウ川を越えるとウィーン中心市街地です。右に橋を渡ったすぐに国際連合のウィーン事務局があります。1945 年にこのライヒス橋を渡って侵攻してきたソ連軍にウィーンが占領されたことから、一時は赤軍橋と呼ばれていたそうです。ここからは、同年 6 月に撮った洪水直後の写真です。

さらに上流部の都市として、ドイツの世界遺産レーゲンスブルク（ミュンヘンの北約 100km）があります。下左の写真は機内から撮ったもので、直前に洪水があり川幅が大きく広がっています。この旅行では、溢れんばかりの茶褐色の川、洪水やその痕跡、不通の道路を幾つも目にしました。仮設の堤防や土嚢も各所で見られました。レーゲンスブルクの 12 世紀

の石のアーチ橋も前日まで渡れなかったそうです。



レーゲンスブルク（成田-ミュンヘン間の ANA 機上より）



少し引いた状態でも満杯



レーゲンスブルク 渡れるようになったばかりの12世紀の石橋



応急仮設の堤防



パッサウ



宙に浮いた浮棧橋



ヴァッハウ渓谷



ブラチスラヴァ城より



エステルゴム 対岸はスロバキア



(第二次世界大戦中 1944 年に破壊) が復旧したのは 2001 年とのことです。ブダペストではドナウ川は北から南に向かって流れています。川に沿った1段低いところの道路や船着き場は水没して、350m程に広がった川幅に幾つもの橋が架かっていますが、橋と橋の間に大きなクルーズ船が動けずに閉じ込められていました(6/12)。

少し下流ドイツ最後のパッサウでは、今よりかなり水面が上がったことを示す岸に乗揚げている浮棧橋がありました(6/9)。さらに下流、ウィーンの少し上流のヴァッハウ渓谷(長さ36km 世界遺産)でも洪水の痕跡や仮設堤防の跡もありました。数年前にも洪水があったので、各所に仮設堤防が用意されていて、洪水が上流部から時間差を持って下流部に移っていくので、仮設堤防のような手が打てるものと思われました。日本に比べれば川を渡る橋は非常に少ないのですが、川の水位が上がると、船が橋の下を通れなくなります。パッサウから5日後だったためか、ヴァッハウ渓谷では一部のクルーズ船は動き始めていました(6/14)。

オーストリア・スロバキア国境回りから中流域になります。左の写真は、スロバキアのブラチスラヴァ城より撮ったもので、河川敷や堤防を走る道路等はまだ浸かったままのところもありました(6/11)。ハンガリーのエステルゴムでも河川敷の林は浸かったままでした。スロバキアへ渡る1本だけの橋



ブダペスト 中央が国会議事堂 セーチャー二鎖橋より



鎖橋袂のライオン像



ブダ城（国立美術館 世界遺産）



ブダペスト Liberty 橋



セーチェーニ鎖橋 左がブダ地区、右がペスト地区



ライン川・ボップアルト

その後ドナウ川は、クロアチア・セビリア国境を流れ、ベオグラードを通り、セビリア・ルーマニア国境、下流域に入ってルーマニア・ブルガリア国境を流れ、ルーマニア内で一旦北上し、ウクライナ国境付近のドナウデルタ（世界遺産 面積 3,446 km<sup>2</sup>、欧州最大の自然状態の三角州 湿地が多い 野生馬も生息）で黒海に流れ出します。ドナウが運ぶ土砂で毎年 3m 程三角州が広がっているそうです。このルーマニア・ウクライナ国境の海岸から 35km 程沖にはズミヌイ島があります。2月にロシアが占領し最近ウクライナが奪還したということで、ウクライナの穀物輸出にルーマニア国境のドナウ川を使って黒海に出るルートも稼働し始めたようです。「Flightradar24」をご存じでしょうか。無料のアプリですが、世界の飛行機の動きをリアルタイムで確認することができます。最近このドナウデルタ付近やルーマニアのモルドバ国境沿い、黒海の北緯 43.5 度付近を東西に（ソチの西 250km 程まで）等で、米空・海軍機や、英・仏・伊等の空軍機、NATO の早期警戒機（飛行機の上に大きな平たい円盤状のレーダードームを持つ）等々が、何時間も同じ場所を往復して周辺を偵察・監視しているのが見られます。シチリア島・クレタ島やトルコのアンタルヤなどから飛び立って、中には 16,000m 以上の高高度を飛んでいるものもあります。しばらく続くと思われませんが、このようなことは早く不要になってほしいものです。

レーゲンスブルクより少し上流のケールハイムから全長約 170km のマイン・ドナウ運河（閘門式 最高地点からの標高差マイン川 175m・ドナウ川 68m）があり、バンベルクでマイン川に抜け、さらにマインツでライン川に合流、黒海からオランダで北海まで水路が繋がっています。ライン川は 1968 年にマインツからコブレンツまで下ったことがあり、途中に幾つもの古城や高さ 130m のローレイ岩もありました。最後の写真は、クルーズ船から見たボップアルトの風景を帰国後に描いたものです。Google のストリートビューで、教会の塔は変わっていませんが、左よりのホテルリリーは建替えられているようです。あのチェコ事件があったのは、この時の旅行でモスクワ滞在中のことでした。54 年目にしてみても!!

### Google 地図参照

（写真撮影 2013.06.08~06.14、10.12）

レーゲンスブルク	<a href="https://www.google.com/maps/@49.0237123,12.1023987,13.91z">https://www.google.com/maps/@49.0237123,12.1023987,13.91z</a>
ヴァッハウ渓谷	<a href="https://www.google.com/maps/@48.3882104,15.4598998,12.92z">https://www.google.com/maps/@48.3882104,15.4598998,12.92z</a>
ウィーン・ライヒス橋	<a href="https://www.google.com/maps/@48.2287003,16.4101883,15.76z">https://www.google.com/maps/@48.2287003,16.4101883,15.76z</a>
ブラチスラヴァ城	<a href="https://www.google.com/maps/@48.1421358,17.0990211,15.22z">https://www.google.com/maps/@48.1421358,17.0990211,15.22z</a>
エステルゴム	<a href="https://www.google.com/maps/@47.7986795,18.7286791,15.22z">https://www.google.com/maps/@47.7986795,18.7286791,15.22z</a>
セーチェーニ鎖橋	<a href="https://www.google.com/maps/@47.5013188,19.0446552,14.14z">https://www.google.com/maps/@47.5013188,19.0446552,14.14z</a>
ドナウデルタ	<a href="https://www.google.com/maps/@45.2341027,29.2984624,8.79z">https://www.google.com/maps/@45.2341027,29.2984624,8.79z</a>
ライン川・ボップアルト	<a href="https://www.google.com/maps/@50.2346139,7.5914397,14.98z">https://www.google.com/maps/@50.2346139,7.5914397,14.98z</a>

上の URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

（2022.08.01）